

【別紙2】

令和8年度高校生のためのおきげいオープン・スクール科目一覧表

【受講の申込について】 ※受講希望の場合は各高校でとりまとめ、下記の期日まで沖縄県立芸術大学アドミッションセンターへ申込願います。

講義開始日	申込締切日
7月～7月末	2026年6月1日
11月末～12月末	2025年11月1日

学部・コース	No.	授業科目名	開講学期	担当教員名	開講日時	開講曜日	受入人数	会場	授業形態
音楽学部・琉球古典音楽コース・琉球舞踊組踊コース	1	総合実習Ⅰ	前期	仲嶺伸吾、新垣俊道 比嘉いずみ、阿嘉修、嘉数道彦ほか	令和8年7月3、10、17、24日 3限 12:40～14:10	金曜日	40名	奏楽堂	対面
音楽学部・琉球古典音楽コース・琉球舞踊組踊コース	2	総合実習Ⅱ	後期	仲嶺伸吾、新垣俊道 比嘉いずみ、阿嘉修、嘉数道彦ほか	令和8年11月27、12月4、18日 3限 12:40～14:10	金曜日	40名	奏楽堂	対面

令和8年度高校生のためのおきげいオープン・スクール授業概要

授業形態	対面授業	学部・コース名	音楽学部・琉球芸能専攻
科目名	総合実習Ⅰ・Ⅱ	科目担当者	仲嶺伸吾・新垣俊道・比嘉いずみ・阿嘉修・嘉数道彦
授業概要： 琉球古典音楽コース・琉球舞踊組踊コースのクラス授業にて習得した技を奏楽堂ホールで総合的に実習する授業です。琉球古典音楽コースは、踊り手や立ち方を引き立てる間合いやテンポ感、または表現法など実演を通して学びます。また、舞台空間での声量や発声のあり方を確認します。琉球舞踊組踊コースは身体や発声で舞台空間を把握し、地謡音楽のテンポ感、間の取り方、発声の仕方、表現の仕方、舞台空間の使い方などを意識し、本番さながらの舞台での実践を習得します。また、本授業は演奏員による笛・胡弓・太鼓の演奏も加わり、より実践的な授業が展開されます。			
授業方針： 本番さながらの実践的な授業を通して、舞台における演舞演奏をはじめ、立ち振る舞いを学びます。優雅な琉球芸能の世界をお楽しみください。			
会 場 ：沖縄県立芸術大学奏楽堂ホール			
授業計画： 【定員各 40 名程度】 前期：7月3日、10日、17日、24日の3限 12:40～14:10 後期：11月27日、4日、19日の3限 12:40～14:10 琉球舞踊（古典女踊、二才踊、雑踊、創作舞踊）と組踊「万歳敵討」の演舞演奏を実舞台に近い環境で行い、舞台人・演奏家としての基本的な資質を学びます。			
備 考 ：教科書やテキストはありません。また、許可のない写真撮影や録音・録画は出来ません。会場内飲食禁止。			
教員からのメッセージ： 荘重かつ優美な琉球古典音楽と琉球舞踊・組踊の魅力を感じていただければ幸いです。			

【別紙 1】

令和 8 年度 **高校生のためのおきげい出張講座** タイトル一覧表

【受講の申込について】 ※受講希望の場合は各高校でとりまとめ、下記の期日まで沖縄県立芸術大学アドミッションセンターへ申込願います。

講義開始日	申込締切日
9 月 1 日～9 月 1 8 日	2026 年 8 月 1 日
2 月 8 日～2 月 1 9 日	2025 年 1 月 4 日

学部・コース	No.	タイトル	開講 学期	担当教員名	開講日時	開講曜日	受入人数	会場・設備	授業形態
音楽学部・琉球古典音楽コース	1	三線を弾こう！	前期	仲嶺伸吾、新垣俊道ほか ※教員は1名、または数名での 実施も可能	9月1日～9月18日	月・水・木・金	1クラスほどの人数 (30～40人程度)	音楽教室など	対面
音楽学部・琉球古典音楽コース	1	三線を弾こう！	後期	仲嶺伸吾、新垣俊道ほか ※教員は1名、または数名での 実施も可能	2月8日～2月19日	月・水・木・金	1クラスほどの人数 (30～40人程度)	音楽教室など	対面

高校生のためのおきげい出張講座授業概要

授業形態	対面授業	学部・コース名	音楽学部・琉球芸能専攻
タイトル名	三線を弾こう！	科目担当者	仲嶺伸吾・新垣俊道ほか ※教員は1名、または数名での実施も可能
授業概要：高等学校音楽科目指導要領に含まれる「表現」「鑑賞」を含む授業です。三線の奏法や歌唱の実技を通して、知識や技能等を学びます。また、教員の演奏を鑑賞し、沖縄の伝統音楽や郷土愛に対する理解を深めます。			
授業方針：三線の基礎的な姿勢や扱い、工工四（楽譜）の読み方、基本的な演奏法を学び、最終的には「ていんさぐの花」や「安波節」の演奏ができることを目標とします。また、グループや受講者全員での合奏を通して表現力や協働性も学びます。三線を楽しみましょう。			
希望会場：演奏を伴うため音楽室や視聴覚室を希望する。			
授業計画：【定員 30～40 名程度　1 クラスほどの人数】 50 分授業　高校と日程調整と楽器（三線）の有無の確認を行います。 ※授業は1回のみ、または2～3回と複数回の授業実施も可能。複数回の授業実施は、より深い習得につながる。 三線の基本的な構え・持ち方・姿勢・弾き方から学び、次に工工四（楽譜）の読み方、奏法や歌唱法を基本的な演奏法を学び、続いて「ていんさぐの花」「安波節」の楽曲を学びます。ある程度の習得に至った段階でグループや受講者全員での合奏を行います。			
備　考　：教科書やテキストは事前に配布します。			
教員からのメッセージ：音楽経験に関わらず、三線や沖縄音楽に興味がある方は誰でも受講できます。一緒に楽しみましょう。			

【別紙 1】

令和8年度高校生のためのおきげい講座タイトル一覧表

【受講の申込について】

※受講希望の場合は各高校でとりまとめ、下記の期日まで沖縄県立芸術大学アドミッションセンターへ申込願います。

講義開始日	申込締切日
9月1日～9月19日	2026年8月1日
2月4日～2月20日	2026年1月5日

[illegible]

令和8年度**高校生のためのおきげい講座**授業概要

琉球舞踊を踊ろう。組踊を唱えよう。

授業形態	対面授業	学部・コース名	音楽学部 琉球舞踊組踊コース
タイトル名	琉球舞踊を踊ろう。 組踊を唱えよう。	科目担当者	比嘉いずみ、阿嘉修、嘉数道彦

授業概要：高等学校音楽科目指導要領に含まれる「表現」「鑑賞」を含む授業です。琉球舞踊の所作や表現法、組踊「執心鐘入」の唱えを通して、知識や技能等を学びます。また、教員の実演を鑑賞し、沖縄の伝統芸能や郷土愛に対する理解を深めます。

授業方針：琉球舞踊の基本的な所作（構え、立ち方、歩み、姿勢など）女踊りの特徴的な手の「こねり」などを学び、最終的には音楽に乗せて身体を動かし踊る事を目標とします。組踊の台本の読み方、基本的な唱え、抑揚を学び、最終的には「執心鐘入」の「若衆（若松）」と「女（宿の女）」の唱えができることを目標とします。グループや受講者全員で息を合わせての演舞や唱えを通して表現力や協働性も学びます。琉球舞踊と組踊を楽しみましょう。

希望会場：動きや唱えを伴うため体育館等の広いスペースを希望する。

授業計画：【定員 30～40 名程度 1 クラスほどの人数】50 分授業 高校と日程調整の確認を行います。

※授業は1回のみ、または2～3回と複数回の授業実施も可能。複数回の授業実施は、より深い習得につながる。

琉球舞踊の成り立ちや、各ジャンルそれぞれの特徴を学び、基本的な所作や歩みを体験します。女踊りの特徴的な「こねり」等を学び、雑踊り（ぞうおどり）「浜千鳥の一節」を学びます。ある程度の習得に至った段階でグループや受講者全員で「浜千鳥」の一節を踊ります。組踊では「執心鐘入」の台本の読み方、発音、発声から学び、次に基本的な唱えや抑揚、続いて「若衆（若松）」と「女（宿の女）」の唱え（問答の場）を学びます。ある程度の習得に至った段階でグループや受講者全員で「若松」と「宿の女」の一場面を唱えます。

備 考：参考資料は事前に配布します。動きやすい恰好、並びに靴下・足袋での参加をお願いいたします。

教員からのメッセージ：音楽経験に関わらず、琉球舞踊や組踊、琉球芸能に興味がある方は誰でも受講できます。一緒に楽しみましょう。

【別紙 1】

令和 8 年度 **高校生のためのおきげい講座** タイトル一覧表

【受講の申込について】 ※受講希望の場合は各高校でとりまとめ、下記の期日まで沖縄県立芸術大学アドミッションセンターへ申込願います。

講義開始日	申込締切日
5 月～7 月末	
9 月～11 月末	
12 月以降	10 日 1 日～12 月 9 日（金）

学部・コース	No.	タイトル	開講学期	担当教員名	開講日時	開講曜日	受入人数	会場・設備	授業形態
音楽表現専攻・ピアノコース	1	《見えているもの、見えないもの》演奏解釈論・渡邊健二先生による演奏会	後期	渡邊健二（東京芸術大学名誉教授） 小杉裕一/小沢麻由子／大城英明	令和 8 年 12 月 12 日	土	1 0 0	奏楽堂ホール	実技
音楽表現専攻・ピアノコース	2	《見えているもの、見えないもの》演奏解釈論・渡邊健二先生による講座・公開レッスン	後期	渡邊健二（東京芸術大学名誉教授） 小杉裕一/小沢麻由子／大城英明	令和 8 年 12 月 13 日	日	100	奏楽堂ホール	講義

令和8年度**高校生のためのおきげい講座**授

授業形態	対面	学部・コース名	音楽学部音楽表現専攻 ピアノコース
タイトル名	《見えているもの、見えないもの》演奏解釈論・渡邊 健二先生による演奏会	科目担当者	渡邊健二（東京芸術大学名誉教授） 小杉裕一/小沢麻由子/大城英明
授業概要：ピアノコースによる「演奏解釈論」の授業。渡邊健二先生による演奏会と講座・公開レッスン			
授業方針：音楽演奏の基本になる楽譜の読み方や、演奏する上で考えることをさまざまな視点で講義、実演します。			
希望会場：沖縄県立芸術大学奏楽堂ホール			
授業計画：定員 100 名程度 12 月 12 日（土）は演奏会、13 日（日）は講座と公開レッスン （時間未定）			
備 考：			
教員からのメッセージ：作曲家にとっては当たり前のことは楽譜に書かれていないことも多い。日本では、日常的にクラシック音楽を享受するようになり、優れた演奏家も多く存在するようになった。しかし、元々は時代も場所も全く違ったところで生まれたものである。言語も生活習慣も違う日本人が自覚していないことは無いのだろうか。また、作曲家にとっては当たり前のことは楽譜に書かれないことも多い。高低アクセントと強弱アクセントの違い。拍の感じ方の違い。リズムパターンと強弱の関係。和声と強弱の関係。普段我々が見逃しているが、音楽演奏のベースとして知らなければいけないことについて考える。			

【別紙 1】

令和 8 年度 **高校生のためのおきげい講座** タイトル一覧表

【受講の申込について】 ※受講希望の場合は各高校でとりまとめ、下記の期日まで沖縄県立芸術大学アドミッションセンターへ申込願います。

講義開始日	申込締切日
5 月～7 月末	4 月 1 日～7 月 31 日
9 月～11 月末	8 月 1 日～11 月 30 日
12 月以降	12 月 1 日～1 月 8 日

学部・コース	No.	タイトル	開講学期	担当教員名	開講日時	開講曜日	受入人数	会場・設備	授業形態
音楽表現専攻・弦楽コース/ 管打楽コース	1	ぬちぬぐすーじさびら コンサート リハーサ ル見学	前期	阿部雅人・林裕・岡田光 樹・澤村康恵・倉橋健・ 屋比久理夏・江戸聖一郎	令和 8 年 6 月 8 日 17 時～20 時 ※随時入退場可	月	1 0 0	奏楽堂ホール	実技（合 奏）
音楽表現専攻・管打楽コース	2	管打合奏/ 洋楽定期公 演リハーサル見学	後期	阿部雅人・澤村康恵・倉 橋健・屋比久理夏・江戸 聖一郎	令和 8 年 11 月 14 日	日	1 0 0	奏楽堂ホール	実技（合 奏）
音楽表現専攻・弦楽コース/ 管打楽コース	3	オーケストラ定期公演 リハーサル見学	後期	阿部雅人・林裕・岡田光 樹・澤村康恵・倉橋健・ 屋比久理夏・江戸聖一郎	令和 9 年 1 月 9 日（変更の可能性あり）	土	5 0	那覇芸術文化劇場な はーと（または奏楽 堂ホール）	実技（合 奏）

令和8年度**高校生のためのおきげい講座**授業概要

授業形態	対面	学部・コース名	音楽学部音楽表現専攻 弦楽コース/管打楽コース
タイトル名	ぬちぬぐすーじさびらコンサート リハーサル見学	科目担当者	倉橋健 教授 屋比久理夏 准教授
授業概要：令和8年6月13日（土）沖縄平和祈念堂で開催の「ぬちぬぐすーじさびらコンサート in 摩文仁」のリハーサルを見学する			
授業方針：公演の主旨についての説明を聞き、平和を考えながらオーケストラの音を聴いてみましょう			
希望会場：沖縄県立芸術大学奏楽堂ホール			
授業計画：定員100名程度 18時に一度ロビーで説明を受けた後、ホール内でリハーサルを見学します。18～20時の時間内で出入り自由とします。			
備 考：当日プリントを配布します			
教員からのメッセージ：毎年沖縄の慰霊の月にあたる6月に開催しているコンサートです。音楽を通し、平和について考える機会になればと思います。			

授業形態	対面	学部・コース名	音楽学部音楽表現専攻 管打楽コース
タイトル名	洋楽定期公演 リハーサル見学	科目担当者	阿部雅人教授・倉橋健教授 屋比久理夏准教授
授業概要：令和8年11月15日（月）浦添市てだこホールで開催の「沖縄県立芸術大学第37回洋楽定期公演」のリハーサルを見学する			
授業方針：管打合奏（吹奏楽）の授業、公演に向けてのリハーサルを見学します			
希望会場：沖縄県立芸術大学奏楽堂ホール			
授業計画：定員100名程度 ホール内でリハーサルを見学します。リハーサルの時間内は出入り自由とします。			
備 考：当日プリントを配布します			
教員からのメッセージ：吹奏楽の演奏会です。今回は洋楽定期公演と大きな公演となります。ぜひ管打楽器の響きをお楽しみください			

授業形態	対面	学部・コース名	音楽学部音楽表現専攻 弦楽コース/管打楽コース
タイトル名	第 32 回オーケストラ定期演奏会 リハーサル見学	科目担当者	阿部雅人教授
授業概要：令和 9 年 1 月 9 日（土）那覇文化芸術劇場なは一とで開催の第 32 回オーケストラ定期演奏会の曲目について解説を聞きリハーサルを見学する			
授業方針：オーケストラの授業を見学し、曲目についての理解を深めます。			
希望会場：那覇文化芸術劇場なは一と（沖縄県立芸術大学奏楽堂ホールになる可能性もあり）			
授業計画：定員 70 名程度 曲目についての解説を聞いた後、ホール内でリハーサルを見学します。※小中学生とその保護者も参加可能とします。			
備 考：当日プリントを配布します。日程や会場が変更になる可能性があります。その際には大学 Web サイト、音楽学部 SNS で告知をいたします。			
教員からのメッセージ：迫力あるオーケストラの響きを聴くと共に、オーケストラに指揮者が入ることで、どのように音楽が変化するのか実際に感じてみましょう。			

【別紙 1】

令和8年度高校生のためのおきげい講座タイトル一覧表

【受講の申込について】

※受講希望の場合は各高校でとりまとめ、下記の期日まで沖縄県立芸術大学アドミッションセンターへ申込願います。

[illegible]

令和8年度**高校生のためのおきげい講座**

授業形態	対面授業	学部・コース名	音楽学部・声楽コース
タイトル名	合唱を楽しもう!!	科目担当者	山内 昌也 准教授
希望会場：奏楽堂ホール			
授業計画：【定員40名程度】基本90分授業であるが、高校側と時間調整を行う。発声の基本から、合唱を歌う際のバランスの取り方や表現の仕方について学ぶ。 副科合唱Ⅱの履修生と一緒に、混声三部又は混声四部合唱の作品を歌う。			
備考：曲目（日本語の曲に限る）は前もって高校側に伝え、楽譜はこちらで準備します。希望があれば、パート練習用CDの貸出を行います。			
教員からのメッセージ：歌は身体一つで出来る最も基本的な演奏活動です。声が合わさる響きの楽しさを皆で体験しましょう。			

【別紙 1】

令和8年度 高校生のためのおきげい出張講座タイトル一覧表

【受講の申込について】

※受講希望の場合は各高校でとりまとめ、下記の期日まで沖縄県立芸術大学アドミッションセンターへ申込願います。

講義開始日	申込締切日
随時	開講希望日の1ヶ月前

[illegible]

高校生のためのおきげい出張講座授業概要

授業形態	対面	学部・コース名	音楽文化専攻
タイトル名	世界の音楽文化を探究しよう	科目担当者	音楽文化専攻教員（ご相談に応じて、希望するテーマを専門とする教員1名が伺います）
授業概要：専門的な講義やアクティヴ・ラーニングを通じて、世界の音楽文化を探究する授業です。高等学校音楽科目指導要領の「鑑賞」を含む内容となります。授業の内容は、以下のふたつから選択できます。 ① 日本・沖縄・アジア・太平洋・西洋の音楽や芸能を通して、世界の文化的多様性について理解を深めます。 ② 音楽文化を育む場づくりについてアートマネジメントの視点から考えます。			
授業方針：高等学校音楽科目指導要領では、世界各地の伝統的な音楽・ポピュラー音楽など、多様な音楽文化への理解を深めることが求められています。授業では、世界の様々な音楽や芸能を鑑賞するだけでなく、グループディスカッションを通してその文化的背景についての理解を深めることで、音楽と社会の結びつきや文化的多様性の大切さについて、生徒の皆さんとともに考えていきます。			
希望会場：音楽室、または視聴覚設備のある教室			
授業計画：50分授業（1回）で、グループディスカッションなどのアクティヴ・ラーニングの時間を含みます。 例）教材・テーマについてのミニレクチャー 20分 ＋ グループディスカッション 20分 ＋ まとめ 10分			
備考：出張型での実施を想定していますが、大学見学や修学旅行を利用した来校時など、本学にご来校いただいた際に本学施設を使用しての開催も可能です。 【授業の実施例】 「パラオに伝わる日本語歌謡による平和学習」、「歌舞伎《勸進帳》を鑑賞しよう」、「海を渡ったウチナンチューハワイ沖縄系移民125周年と沖縄芸能の世界」、「エイサーだけじゃないー沖縄のお盆と芸能」、「音楽とナショナリズムースメタナ《わが祖国》を事例に考える」、「学園祭でも使える！？高校生のためのマーケティング入門」、「コンサートで目指す共生社会～障害者と共に楽しむ舞台づくり」 等			
教員からのメッセージ：音楽を学ぶことは私たちが生きる世界を知ることです。世界の多様な音楽文化やそれを育むための仕組みを学ぶことで、一人ひとりが尊重される社会をともに作っていくための一歩を踏み出しましょう。			